

第1号議案 令和3年度名立まちづくり協議会事業報告

□はじめに

令和3年度も新型コロナウイルス感染症が収束せず、引き続き有形無形を問わず私たちの日常生活や社会全体に様々な影響が出た一年でした。

そうした中でも多くの関係者各位のご理解とご協力により、名立づくりまちづくり協議会（以下、「当会」）の事業計画はおおむね実施することができました。

ただ、令和3年度は令和2年度に策定した「名立まちづくり計画」（以下、「まちづくり計画」）の実現に向けた初年度の位置づけとしていましたが、その実効的な取り組みについては着手できなかった反面、名立まつりの代替事業として実施した「七夕・名立の夏まつり・聖火リレージョイントイベント」のようにコロナ禍にある“今だから”実施できたという事業もあり、そうした意味では厳しい環境の中でも地域で力を合わせていくことの大切さに思いを強くした一年でした。

◇運営関係

1 会議関係

令和3年度の事業計画の着実な進捗に向け、三役会、運営委員会、部会、そして4地区の振興協議会などと定期的または内容によっては随時、会議を開催しました。

- (1) 総会
- (2) 三役会
- (3) 運営委員会
- (4) 部会
- (5) 地区振興協議会代表者会議

月	総会	三役会	運営委員会	部会	地区振興協議会 代表者会議
4月	28日	14日	21日		
5月		19日			
6月		14日	16日	16日合同部会	3日下名立・北部 4日上名立・不動 16日合同会議
7月				1日暮らし部会 2日子ども・地域づくり部会 5日福祉部会	
9月		28日	28日		
12月			9日		
2月			17日		

2 運営関係

(1) ホームページの作成

①目的

当会の活動を広く周知することにより、当会の活動への関心や理解を深めてもらう（とりわけ若い世代から）ため、現在日常的に使用されているネット環境を有効活用し、当会の活動や広く地域の情報、話題等をタイムリーに提供できるホームページを作成する。

②内容

- ・10月19日、ホームページ立ち上げ
⇒コンテンツ（内容）…名立まちづくり協議会及び事業内容、お知らせ、活動ブログ
- ・12月25日～ 活動ブログ開始
- ・4月20日現在、ホームへの“閲覧者”約960件

(2) NPO 法人化の検討

①目的

当会の安定的・継続的な活動に向けた運営体制の基盤づくりの一つとして、NPO 法人化の検討を行う

②内容

- ・会員（一般・賛助）からの理解を得、スムーズな移行を図るため、まち協だより10月号～1月号で「NPO化に向けて」について連載

10月号「NPO化とは？」

11月号「なぜ今か？」

12月号「NPOでどう変わる？」

1月号「NPO化に向けての今後の流れは？」

- ・関係団体への照会

1月12日 柿崎まちづくり振興会（*令和4年4月NPO法人認可取得）

2月7日 SBC経営ブレイングループ（*柿崎まちづくり振興会のNPO法人設立認可申請委託事業所）

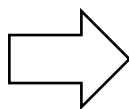
◇自主事業

1 名立まちづくり計画の実現に向けて

令和2年度に策定した「名立まちづくり計画」で描かれた将来像の実現に向け、体系的な取り組みを進める

- (1) 部会構成と事業内容を見直し、まち計の分野別取り組みとの整合を図る

令和2年度部会
いきいき部会
にぎわい部会
あんしん部会
さわやか部会
はつらつ部会



令和3年度部会	令和3年度主な担当事業
暮らし部会	新春交流会
福祉部会	敬老会、地域支え合い事業
子ども部会	公民館連携事業
地域づくり部会	名立まつり、若者会議

(2) 地域づくり活動のプラットフォーム機能の充実

- ・名立まちづくり会議の開催
- ・今後の名立のまちづくりについて意見交換、情報共有 ほか

①日 時：11月5日

②参加者：名立区総合事務所長、名立区地域協議会長、名立商工会長
名立区住民福社会長、名立まちづくり協議会長

③議 題：今後の名立のまちづくりについて意見交換 ほか

2 外出支援事業

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| (1) 実施回数 | 12回 |
| (2) 行き先 | 市内ショッピングセンター ほか |
| (3) 延べ利用人数 | 67人（利用者負担1回300円） |
| (4) 延べボランティア数 | 19人 |
| (5) 実施体制 | 名立区住民福社会、上越市社会福祉協議会名立支所との共催 |



3 広報発行

当会の活動報告やお知らせだけでなく、広く“名立のまちづくり”や様々な“今のなだち”に関する内容も含める

(1) 発 行 5月号～3月号 12回発行

(2) 配布先 町内回覧、賛助会員（事業所）、小中学校、総合事務所、福祉施設 ほか

4 新春まちづくり交流会（未実施）

コロナ禍や関係機関との協議により未実施

①目 的

名立区内のまちづくり等に関わる団体・組織、個人が一堂に会し、相互の交流を深めるとともに、まちづくりに向けた意見交換の場とする

②参集者

- ・まちづくりに関わる団体、組織、個人
- ・福祉関係団体・施設
- ・商工農漁など産業団体
- ・教育機関
- ・行政機関 ほか

③内 容

- ・時 期 1月中旬
- ・会 場 名立地区公民館

5 名立まつり

令和3年度も令和2年度に続き、“従来スタイル”の名立まつりは中止とし、代替事業として「七夕・名立の夏まつり・聖火リレージョイントイベント」を実施した

(1) 趣旨

- ・これまでの名立まつりの趣旨（五穀豊穡や無病息災、地域の一体感の醸成など）を継承する
- ・地域の平穏と平和を願う
- ・一人ひとりの生命と暮らしを守る思いを新たにす
- ・地域の“歴史”から明日の地域づくりを考える



(2) イベント・期間・内容

イベント	時期	内容
七夕飾り	7月1日 ～8月16日	4地区、保育園・小②・中学校、名立大町5町内、公民館、名立駅 計15本
夏まつり	8月14日 ～16日	北部：浦安の舞、盆踊り 不動：盆踊り、花火大会（上写真）
聖火リレー	8月1日	新井町～名立小泊を31人の“聖火ランナー”がつなぐ
壁画展示	7月23日 ～8月16日	旧上名立小⇒名立地区公民館⇒ろばた館に展示

(3) 名立まつり検討委員会の設置

①趣旨

新型コロナウイルス感染症の拡大により令和2・3年度は従来のスタイルでの名立まつりを中止とし代替事業を実施したが、今後も「新しい生活様式」といった新たな暮らし方が求められているように、名立まつりについてもこれまでの内容や形態等の見直しが必要

また、昭和～平成～令和といった時代の流れとともに名立まつりを取り囲む社会環境や地域状況等も大きく変わってきていることも含め、今後の名立まつりのあり方について抜本的に検討していくことが必要

②検討委員会の構成

令和3年度名立まつり関係者会議参画団体＋若い世代と女性の参画

③検討内容：令和4年度以降の名立まつりのあり方について

④検討手法

- ・住民アンケートの実施

全町内会長、名立まつり関係団体ほか281人・団体へアンケート発送

⇒回答数は167通で、回答率は59.4%

「今後の名立まつりのあり方」については「現行のまま」と「見直しが必要」がほぼ同数（同率）の回答でしたが、「中止」を含めると「現行のまま」以外で約60%に及ぶことから、基本的には「現行のまま」ではない今後のあり方の検討が必要



・検討委員会における検討

11月から3月の間に4回の検討委員会を開催し、今後の名立まつりの「目的」「内容」「時期」「会場」「団体」について個別検討を進めた

⑤検討結果

検討結果の最終整理は4月中に予定

6 名立のまちづくりフェスタ

(1) 趣旨

令和2年度まで名立区住民福祉会と社協名立支所が“福祉の名立づくり”をテーマに開催してきた福祉フェスタに名立区総合事務所や当会が参画し、“明日の名立のまちづくり”を考える場として開催した

(2) 開催日・会場・参加者

令和4年3月6日（日）13:30～16:30

名立地区公民館 参加者42人



(3) 内容

①基調講演 土屋俊幸東京農工大名誉教授「SDGsってなんだろう？」

②事例発表 名立中学校のSDGsの取り組み

③情報提供 地域福祉懇談会における「支え合いマップづくり」から見えてきた名立区の現状と今後の地域づくりに向けて

④グループワーク

7 健康ウォーキング事業

(1) 趣旨

雪や風の日でも気軽にウォーキングできることで、名立区民の健康維持・増進につなげるため、名立地区公民館体育館が手軽に利用できる環境を整備した

(2) 内容

- ・時間…平日9:00～17:00（*体育館の利用申請が提出されている日時は使用不可）
- ・利用者…名立区在住の成人（*18歳未満の利用は保護者同伴）
- ・利用料…不要
- ・利用方法…ウォーキングに限定し、その他の利用は不可
- ・手続き…希望者は当会まで連絡

(3) 利用実績 3月18日～31日、3回、延べ7人



8 地域活性化事業

(1) 公民館連携事業「竹田勘兵衛翁生誕 230 年記念顕彰事業」

「夢輝いて！～なだち再発見・演劇プロジェクト～」(通称「夢プロ」)

①趣旨・目的

- ・竹田勘兵衛及び竹田用水(＝川東用水)を通じ、名立の歴史・文化を学ぶことで、地域愛や郷土愛を喚起
- ・住民参加型の演劇公演の取組みを通じ、地域の一体感・つながりを醸成

②内容

- ・学習会 竹田勘兵衛、竹田用水について学ぶ



	日時	参加者数	内容
第1回	7月4日	17人	竹田勘兵衛と川東用水を学ぶ
第2回	7月25日	24人	川東用水を歩く(上写真)
第3回	8月29日	14人	竹田勘兵衛が今に残したもの、公演に向けて

- ・演劇稽古 2月16日から毎水曜日 18:30～20:30



出演者・スタッフ…一般18人、高校生3人、中学生1人、小学生7人 計29人

③実施主体

- ・名立まちづくり協議会、名立地区公民館、いろり座

④今後のスケジュール

- ・演劇稽古 10月まで
- ・上演予定 10月30日(日) 名立地区公民館体育館

(2) 団体活動助成

①趣旨

区内で活動している各種団体の活動支援を行うことで、自主的・主体的な地域づくりの推進を図る

②内容

- ・対象団体…名立区においてまちづくり活動を行っている団体で、名立まちづくり協議会4部会のいずれかの部会に属している団体
- ・助成金…原則として1団体年間3万円以下

③助成実績

- ・名立区老人クラブ連合会「環境整備事業」
(次頁左写真は上名立・長生会のろばた館花壇への花苗植え)
- ・名立駅MS作戦実行委員会「トキ鉄開業7周年記念イベント」
(次頁右写真はイベント参加者による「がんばれ、名立っこ！」メッセージの寄せ書き)



9 地区住民組織活動助成

・区内4地区の住民組織の地域づくり活動に対し助成

地区名	助成額
不動地区	113,000 円
上名立地区	124,000 円
下名立地区	180,000 円
北部地区	73,000 円
計	490,000 円



11月21日(日) ろばた館
上名立地区振興協議会主催ボッチャ大会

◇業務委託及び事務委託事業

委託契約書等に基づき、別添資料のとおり実施

1 業務委託事業

- (1) 名立地区公民館・名立コミュニティプラザ時間外等受付業務委託
- (2) 保育園通園バス運行委託
- (3) 草刈管理事業委託
 - ① 生活環境保全林内草刈管理業務委託
 - ② 林道瓜原線除草業務委託 (下左写真)
 - ③ 名立白山住宅団地草刈業務委託 (下右写真)



(4) 地域支え合い事業委託（*別紙資料参照）



すこやかサロン（毎月・木曜日開催）



はつらつ健康教室（毎火曜日開催）

(5) 名立区敬老会実施事業委託

地区	日時	会場	対象者数 (75歳以上)	出席者数
北部地区	10月3日(日)	名立地区公民館 体育館	358人(名立園33人、名立ひなさき28人を含む)	41人
南部地区 (不動・上名立・下名立地区)	10月11日(月)	ろばた館	255人	41人



2 事務委託事業

- (1) 上越市交通安全協会名立支部事務委託
- (2) 名立体育協会事務委託